

研究業績書記載法

1) 研究業績書には、官能評価に関連したすべての研究業績を新しいものから順番に、発表論文・著書、大会発表を記載すること。なお、大会発表は、日本官能評価学会の大会に限る。

2) 研究業績書を記載する際に必要な項目は以下のとおりである。形式は、「研究業績書記載例」を参照すること。

<発表論文の場合>

- a) 全著者名。著者が複数の場合、申請者の氏名の下にアンダーラインを引くこと。
- b) 発表年。
- c) 題目。
- d) 雑誌名。
- e) 雑誌の巻数と号数。
- f) はじめと終わりのページ。
- g) 査読の有無。

<著書の場合>

- a) 全著者名。著者が複数の場合、申請者の氏名の下にアンダーラインを引くこと。
なお、ハンドブックのように多くの著者が関わった本の場合には、一律に全著者名を記載するのではなく、編者の氏名と、申請者の執筆した章を担当した全著者名を記載すること。
- b) 出版年。
- c) 題目。本の中の一部を執筆した場合は、それに加えて、執筆した章の題目とページ。
- d) 出版社名。

<大会発表の場合>

日本官能評価学会における大会発表のみを記載すること。

- a) 全著者名。著者が複数の場合、申請者の氏名の下にアンダーラインを引くこと。
- b) 題目。
- c) 発表大会名。